

五弁の花

発行所/兵庫県看護連盟
TEL. 078-382-3150
責任者 / 服部 玲子




「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ」



特集 現場の声「私たちの取り組み」

- ◆「賃金制度の見直し」ご存じですか？
- ◆ 2022年度 県別会議報告
- ◆ 支部活動報告
- ◆ OB交流会アンケート結果
- ◆ 青年部 Po-mellon



会員一人ひとりが 「看護職の現場を語る力」を発揮する

2023年度看護連盟会員を増やし、多くの現場の声を国会に反映しましょう！
1日22円、365日、1年間で8,000円の費用で看護連盟の会員として登録ができます。



兵庫県看護連盟
会長 服部 玲子

看護連盟会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。
年末・年始をいかがお過ごしになりましたでしょうか。

昨年は第26回参議院議員選挙がありました。兵庫県看護連盟は「組織を強化して政治力を発揮する」ための年として活動してまいりました。その結果、若き「友納理緒議員」の当選に多くの看護連盟会員の皆様の力を結集することができました。改めて感謝申し上げます。

今回の選挙では、県内、投票会場において前回の第25回参議院議員選挙より8か所得票数が上回りました。また、30カ所で第26回医師連盟候補者を上回りました。これはひとえに看護職が後援会入会を勧めるとともに、看護職が政治への関心を高める活動をしたことでこの結果に結びついたと言えます。

2022年5月29日(日)は、友納理緒候補者をお迎えして総決起大会を開催しました。参加者75名の方には熱気を届けるとともに、登場曲を友納真緒さん(理緒さんのお姉様)のチェロの演奏で「黄色いピアノは愛の色」の演奏を15年ぶりに聴いていただくことができました。黄色いピアノは震災後、兵庫県看護協会1階のエントランスホールに設置されております。


7月7日(木)は、自民党県連のご尽力で友納理緒候補が兵庫県入りをされた際、故・安倍元総理と、西宮ガーデンズ横広場でお会いすることができました。

2023年を迎えどのような変化が押し寄せるか予測ができません。新しい年の誕生とともに、兵庫県看護連盟はより多くの会員の皆様の「看護職の現場の声」をしっかりと受けとめ、看護職の代表議員に届けてまいります。

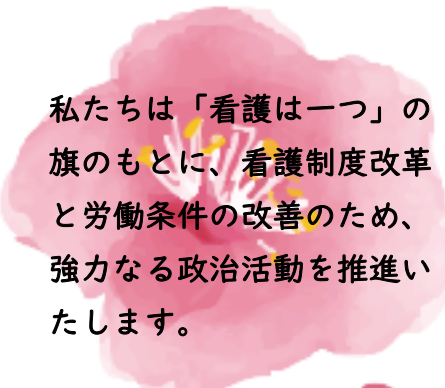
連盟会員が多ければ多いほど組織の力が発揮できます。そうすることで、現役世代の看護職の賃金向上がすべての皆様に反映されます事を看護の歴史にかかわってきた看護連盟の役割として看護協会と連携して邁進してまいります。

看護連盟会員の皆様にとって本年は、飛躍の年としてお一人おひとりが持ち備えた力を発揮していただきますよう、皆様のご活躍を楽しみにしております。引き続き、どうか皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

日本看護連盟綱領



私たちは一人ひとりの知恵と力を結集し、国民の健康と福祉の向上のために強力なる活動を推進いたします。



私たちは「看護は一つ」の旗のもとに、看護制度改革と労働条件の改善のため、強力なる政治活動を推進いたします。

2023年を迎えて



日本看護連盟
副会長 富田 きよ子

新しい年を迎えて

謹んで新春のお喜びを申し上げます

昨年の8月1日から日本看護連盟会長代行の重責を担って活動しております。

2022年は看護職代表の「ともものうりお」氏を国政の場に送ることが出来ました。兵庫県看護連盟会員皆様のご活動の賜物です。ありがとうございました。

友納議員は当選して4か月後には参議院厚生労働委員会で看護政策について質問しました。初質問なのに堂々と発言をしている友納議員に思わず拍手をしました。

その質問に答えるかのように私達の悲願でありました、国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表を改正する人事院規則が公布されました。「いわゆる寝たきり給与表」が改正されたのです。管理的立場にある看護師や特に高度の知識経験を持つ看護師給与が、高い職務級に昇格できることになりました。長年の活動の積み重ねが実を結びました。素晴らしいことです。

少子化・超高齢化が加速する中で、2035年、2040年をターゲットとしたさまざまな医療介護福祉の仕組みづくりが進められています。日本看護連盟は、国の保健医療福祉政策の動向を的確に把握し、看護職が専門職として国民の健康と福祉の向上に貢献できるよう、看護職の処遇および就労環境の改善を目指した活動を続けて参りましょう。

厳寒の季節を目の前にして、コロナ・インフルエンザ(?)とますます忙しくなり、先の状況の見通しがつきづらい中ではありますが看護職の皆様どうぞご自愛くださいますようお願いいたします。

今年の干支は「卯(うさぎ)」年です、ぴよんぴよん跳ねるうさぎのように生き生きと連盟活動を頑張りましょう。

会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



兵庫県看護協会
会長 成田 康子

「兎の登り坂」

新年、あけましておめでとうございます

2022年の漢字は「戦」が選ばれました。まさに私達看護職は、新型コロナウイルスと3年近く戦ってきました。その中で、様々な看護の知恵と工夫、院内外の協力と連携で乗り切ってきました。また、2022年は、短期決戦で友納氏を連盟・協会が1つになって、国政に送り出すことができました。この経験は、今後の看護連盟と看護協会の活動に大きな力を与えてくれました。これらは、会員の皆さまのご支援があつての結果だと感謝いたします。

2023年度、兵庫県看護協会は、以下の6つの重点方策を掲げています。

- 1.看護職の人材確保と定着促進
- 2.キャリア開発支援
- 3.全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化
- 4.勤務環境改善の推進
- 5.災害・健康危機支援体制の強化
- 6.職能団体としての組織力強化

人材確保のためにも看護の魅力を高めるキャリア開発支援、働き続けられる勤務環境の改善等に取り組んで参ります。

さて、今年は卯年です。うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起が良いと言われていきます。2023年4月から実施される看護職の処遇改善は、官民を問わず全ての看護職の処遇改善の実現を目指します。「兎の登り坂」の如く、看護連盟と看護協会がそれぞれの力を発揮して、看護職にとって飛躍の年にしたいです。

今年も、ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

参考：「兎の登り坂」とは得意分野で実力を発揮して物事がスムーズに進んでいくこと

2023年を迎えて

参議院議員

石田 まさひろ



兵庫県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと存じます。新型コロナ禍における多くの困難の中、医療の最前線に立ち続け、地域の健康を守るために力を尽くされている皆様に心より感謝と敬意を申し上げます。

第210回臨時国会より、議院運営委員会理事、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命致しました。国会運営が円滑に進むよう交渉役として走り回ると共に、引き続き、厚生労働政策を推し進めてまいります。

昨年11月、国家公務員看護職の俸給表である医療職俸給表(三)の昇級基準の改正が公表され、長年の課題であったキャリアアップに伴う処遇が改善されます。今回の改正では、看護師長クラスや高度な知識経験を持つ看護師の給与のランクが上がることとなります。これにより、看護師としての経験を積み、責任が大きな立場になると、それに見合っただけで給与が上がる仕組みへと前進しました。また、昇格基準の改正の意図を理解し、全国の病院で看護師のキャリアアップに伴う処遇改善を進めるよう、厚生労働省医政局長が都道府県知事などに通知を出しました。看護師の処遇改善は国の意思です。各病院でも、改正に追随するよう、給与表の見直しに取り組んで欲しいと思います。

皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



岸田総理が議院運営委員会と与党理事にご挨拶



厚生労働委員会にて質問

参議院議員

友納 理緒



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年は皆さまから力強いご支援を賜り、国会に送り出させていただきました。9月1日に開催された自民党の看護問題小委員会では、事務局次長を拝命し、看護職員全体の処遇改善とあわせ、資格管理活用基盤構築の確実な実施、特定行為の周知、看護教員等への幅広い研修体制の充実(ハラスメントなどを含め)などの必要性をお伝えしました。

10月3日から始まった臨時国会では、厚生労働委員会で初質問の機会をいただき、今後、新たな感染症に対応するためには、処遇、配置、環境など平時からの看護提供体制の強化が必要であることを訴えました。12月の閉会直前には、2回目の質問に立ち、障害者総合支援法改正の議論の中で、精神科訪問看護や精神科病院における虐待通報などの問題について取り上げました。その間、11月には、長年の懸案事項だった国家公務員医療職俸給表(三)の改正がなされました。声をあげれば変わることがあります。皆さまの声をしっかりと国政に届ける役割を今後も果たして参ります。

本年4月に「こども家庭庁」が創設されます。こどもの命を守るため、妊娠前からの切れ目のない支援を行うため、看護職には大きな役割が期待されます。

看護の明日をともに作りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。



国会議事堂をバックに



厚生労働委員会にて 質問

衆議院議員
あべ 俊子



新春にむけて

新年あけましておめでとうございます。元日のすがすがしい朝の空気は、いつでも初心を思い起こさせます。

時代は大きく動いています。昨年は世界情勢の変動による物価高、更なる技術革新、コロナ禍によるDX化の推進など、多くの事柄が急速に変化しました。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進にどのように繋げられるだろうか、といつも考えています。コロナ禍では、現場の看護師不足が顕著になりました。これは看護師の絶対数が少ないというのではなく、医療制度の在り方、人員配置、地域医療への移行など、複数の要因が絡まったものです。一つ一つを解きほぐし、より良い看護を提供するための現場に変えていかなければなりません。そんな中、自民党本部では、勤務間インターバルについての議論が進んでいます。看護の現場は緊張の連続です。そんな緊張から離れ、休暇と働き方の好バランス、精神的な充実と良い休息・休暇のためを可能にする、人材確保と合わせた勤務間インターバルの法制化を目指しています。

いつの時も、看護の最前線は臨床であり、病院や在宅で看護ケアを提供する皆さまです。政策立案の基本となるのは、現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢にもとづいて変革していくことを貴連盟の皆さまと一緒に支えてまいりたいと存じます。



アフリカの大統領夫人との
意見交換会



モザンビーク国の大臣との面会

衆議院議員
たかがい 恵美子



初春の穏やかな日和に皆様の麗らかな笑顔が重なります。兵庫県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらぬご厚情に心から感謝を申し上げます。

働き盛り世代が急減する中での子育て支援をはじめ、我が国は今、物質的豊かさの追求から人生100年に渡る尊厳重視へ、公共政策の関心が大きく転換しつつあります。

自民党では昨夏の内閣改造後に人生100年時代戦略本部を廃し、新たに社会保障制度調査会を強化して、全世代を視野に入れた次代の制度体系について議論を始めています。役員の一員として、性差に着目した科学的な健康支援も積極的に取り入れ、幸せに齢を重ねることのできる近未来の地域づくりに取り組んで参ります。

穏やかならざる世情の鎮撫を願い、また各地で活躍する皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。



ウェルビ対話集会



科学シンポジウム

真珠の郷 英虞湾より
ネックレス 指輪 装身具販売

真珠の奥出加工

奈良県磯城郡田原本町

TEL.080-6912-5846 / 0744-32-3835

オンラインショップからもご購入いただけます。

奥出加工

検索



ウィズコロナから、ポストコロナ、アフターコロナへと人々の認識は変わりつつありますが、看護の現場は果たしてそうでしょうか。「わたしたちは、まだそうではない」という言葉が散見します。第8波の感染の収束が見えない中で、どのようなことを問題にして取り組んでいるのでしょうか。

コロナ禍での安全なケアの提供、後輩の育成への努力、コロナ以外のあらゆるケア対象に対する新しい試み…。仲間たちのたゆまぬ努力をご紹介します。

ウィズコロナ時代 ～訪問看護の現場から～

南但訪問看護センター 小谷 裕都子

いまだに収束が見えない新型コロナウイルス感染症。当事業所は但馬の山間部にある超高齢化地域で、利用者の多くは、高齢所帯、独居老人、認知症のある方達です。最近特に、訪問看護利用者の中で、感染者が増加傾向にあり、通常の業務に加えて感染拡大予防への対策に翻弄される毎日です。訪問して、初めて発熱に気づいたり、訪問後に利用者・家族の感染が判明したりと・・・また、職員自身が感染源にならないよう、体調管理をしっかり行う等、現場のスタッフは感染への不安と恐怖を抱きながら、今までとは異なる緊張感をもって業務にあたっています。

コロナ感染症により、ヘルパーサービスやデイサービス等の利用が制限された時には、訪問看護サービスが最後の砦のように、ケアマネージャや行政、保健師等から訪問看護を相談されることが多々あります。地域の資源にも限りがあり、訪問看護が出来ること、出来ないことの狭間で悩むこともあります。幸いにも業務に大きな支障をきたすような事態にはいたっていませんが、もし事業所の事業を停止せざるをえないような状況を想像すると背筋が寒くなります。現在、スタッフは使命感をもって業務に取り組んでくれており、感謝しています。

ウイルスの猛威と隣り合わせのこの時代、地域住民が安心・安全に、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、今後も「感染しない、感染させない」をモットーにスタッフと共に、頑張っていきたいと思えます。



南但訪問看護センター スタッフの皆さん

南但訪問看護センター
養父市八鹿町下網場411
TEL 079-662-3344

コロナ禍の現場の今 ～新しい取り組み～

医療法人社団せいわ会たずみ病院

看護部長 松田 証子

新型コロナに追われ続けた3年間、当院では入院の受け入れは行ってはいないものの、発熱外来や陽性透析患者には隔離透析などの対応をしてきました。

今振り返れば、未知のウイルスということもありましたが、過剰だと言われてもおかしくない対応もあったように思います。

発生の当初は、部署によってこんなにも感染対策に対する意識が異なるのかと実感しました。しかし、感染対策委員が各部署をラウンドし、物品整理、休憩室での会話のあり方といった具体的な指導をしていくうちに、職員の意識も高まってきました。一時は、職員に陽性者も出ましたが、感染拡大することなく乗り越えることができました。

現在は、当初のピリピリした感じはなく、職員にもゆとりが出てきており、今年の春に向けて看護部とりハビリ職員で新しい取り組みを実施しようとしています。

それは、病院の敷地内に「花壇」を造ることです。

今までも有志により、玄関の横に花を植えたりしていましたが、今回は造園業者に相談しながら患者様に喜んでいただけるような「花壇」を目指しています。さらに、入院患者様が車いすでも野菜を作ったり出来るスペースを考えています。

春には、患者様も職員も皆がほっこり笑顔になればいいなと思います。



たずみ病院看護部の皆さん

医療法人社団せいわ会たずみ病院
加古川市尾上町口里790-66
TEL 079-456-2252

「あなたでなければ」と言われる 訪問看護を目指して

あゆみ会訪問看護ステーション 高石 歩美

2019年に訪問看護ステーション事業を開業してから5年目を迎えようとしています。起業を決意したきっかけは「看護師の仕事は看護師が語るべき」他職種に看護を語られているような状況ではいけないと思う出来事があったからでした。

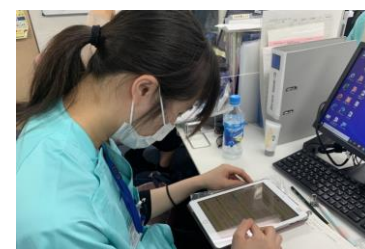
賛同する仲間を集めて事業を開始しましたが、事務員を雇用する余裕はなく税理士のみ顧問契約し、レセプトや労務管理についても事業が軌道に乗るまで、前職での経験を活かし勉強しながらやってみようと思い、あちこち足を運んで調べながら歩んできました。

経営に関しては全くの素人でしたが、今、振り返られる言葉が「訪問看護の経営・戦略」です。苦楽を共にした仲間と戦略もないままでの訪問看護の実践は、戦略という意識が無いままで、これまでの臨床で身についたリスク意識に支えられてきたと思ひます。

様々な経験値をもった看護師が集い、私への呼び名は社長ではなく「あゆみさん」です。だからこそコミュニケーションが取りやすい職場だと思うと、あゆみさんと呼ばれるのは嬉しい瞬間です。

経営面で事業継続を脅かされる時もありますが、看護師がすべきことを見失わず「弱きものの代弁者となること」「あなたでなければと言われる人であること」という気持ちを持ち続けたいと日々感じています。

訪問看護師は少数ですが、地域のキーパーソンとなり医療と介護の連携をしていけるように頑張りたいと思います。



新人看護師



呼吸リハビリ訓練

新卒採用経験からの提案

～どんな場でも看護師が働ける仕組みを～

西宮市訪問看護センター 管理者 山崎 和代

当ステーションは3サテライト事業所を持つ機能強化型 I 訪問看護ステーションです。看護師、セラピスト70名で620名の利用者に訪問し「どんな状態の方も住み慣れた場所で最期まで過ごせる地域づくり」を理念に30年運営してきました。

スタッフの高齢化と求職者の減少による事業存続の危機を感じ、平成28年度から新卒者採用に踏み切り、6年間採用しています。

某年4月に入職し、本来ならば急性期病院の新卒看護師と一緒に研修に参加していたはずのAさん。コロナ禍で叶わなかったものの、入念な自己学習と同伴訪問、リフレクションを積み、看取りを経験しました。「きっとあなたに看取らせたかったのね、いいナースになってね」とご家族に言われて号泣した彼女ほど1年目に色々なことを経験した新卒はいません。本人・スタッフの頑張り、コロナ禍での新卒採用をプラスに転じられたと感じます。Aさんは急性期病院で働くために退職しましたが、キャリア形成に訪問看護経験が大きな強みとなるに違いありません。

地域には中重度でかつ複雑な家族背景を持ちつつ暮らす人が増えています。病院と地域の垣根が取り払われ看看連携がすすみ、必要な人がタイムリーに看護を受けられるために、どんな場でも看護師が働ける仕組みが叶うことが急がれると、強く感じています。

街なかがんサロンのころみ

NPO法人神戸なごみの家
がん看護専門看護師 藤原 由佳

神戸市内の地域がん診療連携拠点病院で活動を活かし、令和4年4月より、地域に場を移し、地域全体のがん看護の質向上に向け取り組み始めました。取り組みの一つとしてがんサロンをオープンし運営することになりました。

当法人の「暮らしの保健室」には、がん患者さんが自由な語り合いや静かに過ごす場所を求めて来られます。そこで、秋から、2回/月、がんサロンを開催し、毎回、数名の方が利用されています。その中で、「一人でいると病気のことばかり考えてしまう」「放射線治療を受けようと思ったけど、副作用のことを聞いて気持ちが揺らいでいる」「再発したら命は1年と言われた。毎日をどう過ごしたらいいのかわからない」等、サロンの中で自分の気持ちを吐露し、涙し、また、サバイバー同士語り合う中で、自分なりの答えを見出されています。

2人に1人ががんになる時代。がんの罹患は患者・家族だけでなく、友人、職場の人、学校の友達、ケアギバーなど、多くの人に影響をもたらします。そこで、がんと共に歩む方が、がんの影響を受けた人たちが、自分自身を取り戻すことができる場所が必要と考えがんサロンをオープンすることになりました。第二のわが家として気軽に立ち寄り、居場所として活用しやすいように神戸市(JR兵庫駅南側)の街なかにある民家を利用します。2月中旬のオープンです。

がんサロンは、看護師の他、医療・社会・福祉関係者の連携・学びの場としても活用する予定です。がんと共に歩む方が、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる地域づくりを目指し、共に取り組んでいきましょう。



がんサロン
(2月中旬オープン)



藤原由佳さん(前列左)、NPO法人の松本京子理事長(前列中央)と事務局、スタッフの皆さん(後列)

NPO法人神戸なごみの家
神戸市長田区雲雀ヶ丘2-2-3
TEL 078-578-3112

社会的ハイリスク妊産婦支援について

～小さいのちのドアの働きより～

公益社団法人小さいのちのドア
代表理事 永原 郁子

「小さいのちのドア」では、育てることが出来ない追い詰められた女性のための24時間対応の相談と、行き場のない妊産婦の生活自立支援を行っている。2018年9月に開設した当初は24時間対応の妊娠相談窓口は全国でも珍しく、来所ができる所はここにおいて他にはなかったが、2020年の補正予算により「若年妊婦等の支援事業」が創設され、24時間の相談窓口が増えつつある。私共も相談事業の4割が兵庫県と神戸市の委託事業となった。

また、2020年12月にマタニティーホームMusubiを建て、行き場のない妊産婦支援を始めた。国に妊産婦の生活支援を行う制度がなかったのである。しかしその必要性は高く、開所以来入居者が途切れたことがない。

この働きも2022年から国の事業として「妊婦等支援整備事業、特定妊婦等支援臨時特例事業」が施行され、兵庫県では同年6月に「支援の必要性の高い妊産婦への臨時支援」(兵庫県モデル)として、妊産婦の生活支援から自立支援が始まり私共が受託した。兵庫県では国の事業に加えて齋藤知事から就職支援や資格取得のための財源の確保、また県住をステップハウスとして活用するなど、行き届いた温かな支援が実施されている。



マタニティーホームを利用される方の多くは妊娠したことでパートナーとの関係が悪化、自身も妊娠したことで収入が途切れ、その上実家に頼ることが出来ないといった大変辛い状況で私共を訪れられる。しかしここから出ていかれる時はいのちを生み出したことを自信につなげて自立していられる。またドアでは新生児の遺棄事件につながりかねない母子の命を何組も救ってきた。

3年前にはなかった行き場のない妊産婦への支援の制度が確実に形になってきている。次年度からは予防的活動である高校生の性教育活動を充実したいと考えている。

今、居住スペースを増やすためリフォームをしているが、それに伴って医療職の常勤、当直者を募集中している。理念に賛同下さり、関心のある方はどうぞご連絡を。

公益社団法人小さいのちのドア
神戸市北区ひよどり台2-30-7
TEL 078-743-2403

「賃金制度の見直し」ご存じですか？

2022年11月18日に「国家公務員医療職俸給表(三)」を改正する人事院規則が交付されました。

これはあくまでも「国家公務員」が対象です。

これを機に自施設の賃金に関する現状を分析し、看護職の処遇改善につなげられるよう検討しましょう！

手にしてこそその成果

3年余にわたる新型コロナウイルス感染症との戦いが、医療現場や看護職にもたらした影響は、何でしょうか。

それぞれ、所属する施設・管理する施設で受ける影響は違うかもしれませんが、私たちにはそれぞれができる範囲でできるだけのことをして来たという自負があります。専門職能として、その責任に対して正当な評価を受けてきたのでしょうか。



人事院の発表に伴い、全国の医療機関や施設が看護職の給与のあり方を見直し、看護の専門性と役割の重要性に見合った給与体系の導入と処遇改善が進むことを期待しています。

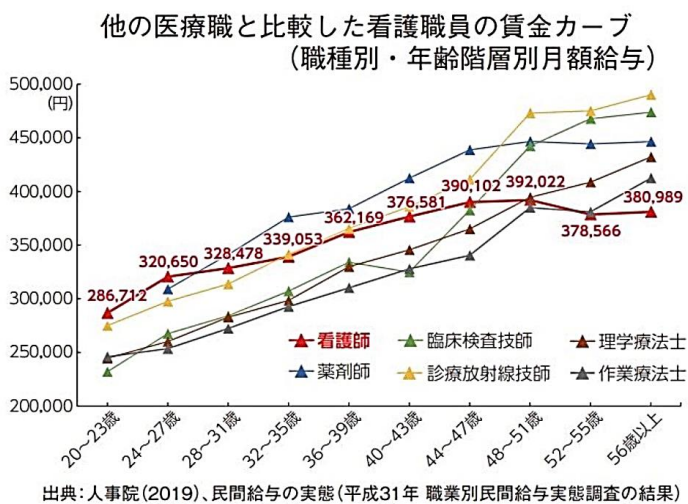
(参議院議員 石田まさひろメールマガジンVol.10-231より)

2022年11月、「国家公務員医療職俸給表(三)」を改正する人事院規則が交付により、待ちに待った看護職の給与アップの方向性が示されました。それは、私たちが長年、現場の声を国に届けてきた結果、また、私たちと手を携えて看護・社会をよくするために尽力して下さる看護の代表議員、地方議員のみなさんとの協働の成果でもあります。

しかし、ようやく手にしたこの政策が、現場で働く一人ひとりに届けるためには、看護管理者のはたらきかけとそのパワーが必須なのです。看護管理者は耳に痛いほど「ピンチはチャンス」という聞き、また伝えてきたと思います。

今がその時として、この制度が一人ひとりの報酬に反映するためには、看護部長の活躍が要となります。「手にしてこそその成果」です。改正の要点をしっかりと理解し、活動の成果をみなで共有しようではありませんか。

(文責：阪神南幹事 平川 弘美)



【表】国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表(現行・改正後)

□…見直し部分

	現 行	改 正 後
1級	准看護師の職務	准看護師の職務
2級	1.看護師の職務 2.保健師又は助産師の職務	1.看護師の職務 2.保健師又は助産師の職務
3級	医療機関の看護師長の職務	1.医療機関の副看護師長の職務 2.特に高度の知識経験に基づき困難な業務を処理する看護師の職務
4級	医療機関の副総看護師長若しくは副看護部長又は困難な業務を処理する看護師長の職務	医療機関の相当困難な業務を処理する看護師長の職務
5級	医療機関の総看護師長若しくは看護部長又は困難な業務を処理する副総看護師長若しくは副看護部長の職務	医療機関の総看護師長若しくは看護部長又は困難な業務を処理する副総看護師長若しくは副看護部長の職務
6級	特に規模の大きい医療機関の総看護師長又は看護部長の職務	特に規模の大きい医療機関の総看護師長又は看護部長の職務
7級	極めて規模の大きい医療機関の看護部長の職務	極めて規模の大きい医療機関の看護部長の職務

兵庫県の第26回参議院選挙を総括して、第27回参議院選挙に向けての課題・対策や連盟会員確保に向けての課題、解決策について、兵庫県看護協会役員理事、日本看護連盟と共に会議をもちました。

- 日 時 : 2022年11月5日(土)
- 場 所 : 兵庫県看護協会
- 出席者 : 日本看護連盟より 近藤幹事長、福田常任幹事 (オンライン)
兵庫県看護連盟役員・支部長・顧問(28名)
兵庫県看護協会役員・理事(15名)



各地区でグループワークを実施

〈 議事内容 〉

1.報告事項

- ・日本看護連盟 報告
- ・第26回参議院選挙経過と結果 福田常任幹事
- ・兵庫県看護連盟 選挙経過と総括概要 服部会長

2.検討事項

- ・第27回参議院選挙への課題と対策



日本看護連盟幹事長
近藤 美知子



日本看護連盟常任幹事
福田 淑江

県別会議を終えて

本会議で第26回の参議院選挙で看護職議員を送り出すことができた要因の一つに、看護連盟と看護協会の連携の成果が報告されました。互いの力を結集し、それぞれの持つ強みを活用した活動は何にも勝る大きな力になることがわかり、今後への期待が高まります。

しかし、一方では連盟会員の減少は止まらず、看護職議員を政界に送り出す組織力の低下が危惧されています。グループワークでは、このような事態を打破し、組織力を強化するために、政治活動の進め方や、協会との連携、若い看護職への働きかけなど、具体的な対策が提案されました。これら一つ一つを吟味し、看護連盟の活動として展開し、確実に成果につなげていかなければならないと思いを新たにしました。

北播地区幹事 丸岡 洋子

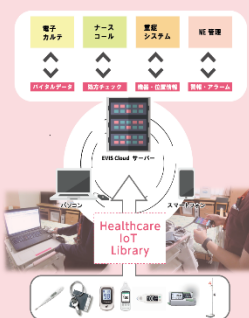
バイタル機器連携ソリューション

EVIS Cloud

バイタルデータをまとめて送信・まとめて管理。
データ入力業務の負担を軽減、業務効率を最大化します!



医療 IoT 実現への扉をひらく



- 機器を限定しない機器選定が可能
- 機器追加・変更が安価で容易に
- 電子カルテへのリアルタイムな入力・記録を実現
- 誤入力・未入力の予防
- 記録時間の短縮・効率化

MISSION

医療業界の IT 分野に

様々な信頼されるソリューションを。
それが私たちの使命です。

Safe medical system 診療と安心を医療現場へ

e Doktor

株式会社イードクトル

06-6324-6222 9:00~17:00月~金 (祝日・弊社指定休日除く)

会員増を目指しての施設訪問

西播地区 幹事 坂本 寿美子

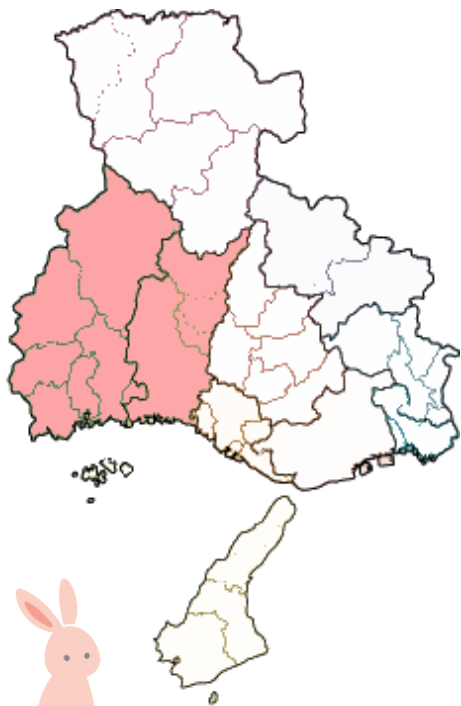
12月14日に西播地区で施設訪問をしてきました。約10時間かけ、300kmを走破、西播は広いと思った一日でした。北は神崎、宍粟、作用、真ん中は上郡、西は赤穂、相生、南はたつの、そして姫路市内へ、計11か所を、桐月副会長、中野西播支部長と共に訪問させて頂きました。

年末でもあり、コロナ対応の忙しい時期で、事前連絡なしの突然の訪問であったにも関わらず、どの施設の看護部長様方も丁寧に対応して頂いた事を感謝いたします。

7月の参議院選挙のお礼を兼ね、今後の看護職国会議員への変らぬ応援と一人でも多くの連盟入会者を増やしたいとの協力をお願いいたしました。

いろいろな方に交流の広い桐月副会長に同行頂いたことで、うまく話を広げて頂くことが出来、会員のいない施設でも、夫々の施設の現状や問題などを、短時間ではありましたが伺うことができ、今後につながる訪問になったと思います。

連盟活動は政治活動でもあるため、理解されにくい面があるのは否めない事実ではありますが、今回訪問させて頂いたどの施設でも、前向きに連盟を応援して下さる声を聞くことが出来たので、ここで留まることなく、今後も機会を捉えて、各施設とのつながりを持ち続け、連盟への協力者を増やしていく事につなげていきたいと思っています。



ピンクの大きい部分が西播地区です！

支部研修会を終えて

阪神南 支部長 清水 真由美

新型コロナウイルス感染の拡大により2年間中止していた支部研修会ですが、感染拡大もある程度落ち着き、10月22日に3年ぶりに対面での研修会を開催しました。ちょうど第8波の到来直前でギリギリセーフの状況でしたが、当日は服部会長にもご臨席いただき、参加者22名で無事終えることができました。

研修は2部構成で、第1部は東洋羽毛の上級睡眠健康指導士の青木勝則氏の「睡眠セミナー」です。上手な眠りの効果が健康、メンタルヘルスのみでなく、学力、技術・技能、美容にもかわることを改めて学び、良い睡眠習慣を身につける必要性を再認識しました。

第2部は阪神南地区幹事の平川弘美氏の「なんで今更仏教なん？」-わたしのリカレントライフ-です。冒頭に、赤塚不二夫の「天才バカボン」に出てくるキャラクター名と言動に関する隠れた(仏教と深い関連のある)意味について笑いを交えて紹介がありました。その後ご自身が経験されたJR福知山線脱線事故の際、感情が生起する背景の分析と救済の主体について、現在大学院修士課程で研究テーマの『歎異抄』の解釈を入れながら展開していただきました。

研修のねらいは「長引くコロナ禍に、心身ともに疲弊している看護職の方々がリフレッシュでき活力を得る機会とする」です。感想に、とても素晴らしい講義でした。また聴いてみたいと思った。「救済」という言葉の深さ、重さ、難解さを知りました。とあり、研修アンケートからは「とても良かった、良かった」が75~90%で、概ね目的は果たせたかと思えます。次年度はコロナ禍を脱却していることを期待しつつ、続編を依頼する予定です！



睡眠セミナー



平川弘美氏による研修

「令和5年度兵庫県予算編成に対する最重点要望」提出

令和5年1月6日 兵庫県知事と面談、兵庫県看護協会と共に要望書を提出しました。



【看護政策における要望】

- ・ 看護職の確保と人材育成
- ・ 看護職の働き方改革の推進
- ・ 看護職の処遇改善
- ・ 専門性の高い看護職の育成促進とネットワークの推進
- ・ 災害・新興感染症に対する体制の整備

【要望書の提出先】

- ・ 兵庫県知事
- ・ 兵庫県保健医療部長
- ・ 兵庫県議会「看護を支援する議員の会」
- ・ 兵庫県議会自由民主党議員団
- ・ 兵庫県議会自民党兵庫議員団

映画会「ぼけますから、よろしく願います」アンケートより

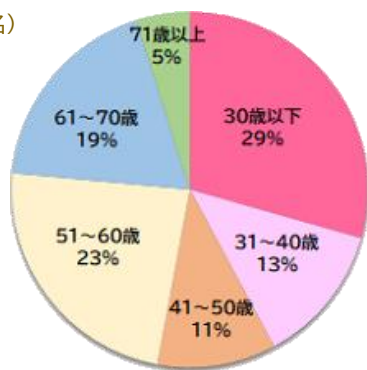
新型コロナウイルスの蔓延により、2年間開催を控えていましたが、OB会員のみなさんの熱意ある取り組みと素晴らしいアイデアで、映画観賞会として開催にこぎつくことができました。様々な世代の方たちの参加をいただき、ともに高齢化の問題を考えることができたので、アンケート結果を中心に報告致します。

(NEWS Hyogo Vol.17の記事も合わせてご覧ください)

映画『ぼけますから、よろしく願います。』は、2016年に完成した映像作家の信友尚子さんのドキュメント作品です。認知症を患うお母さんと、それを支えるお父さんの姿を娘としての愛情と作家としての目線で淡々と映像化するところが、私たちの根底に響きます。

参加者年代別内訳

(参加人数:113名)



今回の参加層の特徴はあらゆる年代の参加にあります。また、看護学生37名の参加があり、共に看護の未来を考えるきっかけとなった研修でした。もう一つの特徴は、様々な立場の方々が一堂に会したということです。介護職者等の他職種の参加、そして地域医療、福祉施設、教育機関と看護職が働く様々な施設からの参加がありました。

感染防止の観点からグループワークを行うことはできませんでしたが、世代を超えて同じ問題に取り組む好機となりました。

そして、73%の参加者が続編も見たいと希望しています。参加者の率直な感想として自由記載していただいた内容をまとめてみました。

年代別の意見を大まかにカテゴライズして報告します。10個のカテゴリーが抽出されました。

年代別回答の上位項目と率直な意見です

自由記載のまとめ

30代以下 **上位** 在宅ケア事情のリアル
自分のあり方・夫婦のあり方家族のあり方

「映像なので経時的に認知症が進行する様子やそれに合わせたサービスの導入、夫の生活の工夫、妻の病気を受け入れていく変化が間近で感じられた」「老々介護が増える中で、ドキュメンタリーで実際を見ることができた」

31~40歳 **上位** 高齢者・認知症の受け止めが変わった
高齢者社会について・親の介護

「どうしても働いていると認知症の方にイライラすることもあった。今日の映画を観て関わり方が変わる。自分もいずれは、そうなる「これから来る高齢化社会に自分がどう貢献しているか考えさせられた」と思うと人生を考え直す機会となった」

41~50歳 **上位** 家族のあり方、夫婦のあり方
高齢者・認知症の受け止め、自分のあり方

「家庭環境は違う。映画を通して体験できない気持ちに触れられた。気持ちの体験は心を豊かにしてくれる」「家族の歴史が詰まった、愛情あふれる映画だった」

51~60歳 **上位** 夫婦のあり方
家族のあり方、看護実践の参考になった

「現在社会の人の喜び・困難・苦難、愛をもって撮影され、それが伝わってきて大変感動した」「老人看護専門看護師として活動するうえで参考になった」

【カテゴリー】

- ①夫婦のあり方(33)
- ②高齢者・認知症の受け止め(27)
- ③家族のあり方(22)
- ④ストーリーそのもの(16)
- ⑤自分のあり方(15)
- ⑥学生の学び(12)
- ⑦親の介護(14)
- ⑧現場実践の参考(7)
- ⑨在宅ケアのリアル(1)
- ⑩高齢化社会について(1)

(降順・括弧内は回答数)

61~70歳 **上位** 親の介護・自分のあり方
夫婦のあり方、看護実践の参考になった

「自分の生活に鑑みて、母の老いをどこまで自分自身が支えていけるか、しっかり考えたい」

70歳以上 **上位** 自分のあり方・家族のあり方
高齢者・認知症の受け止め

「老々所帯で老々介護の現実をみて心が熱くなった 私自身のこととして視た」「本当に一人の人間として最期までその有様を見ることができた。認知症により判らなくなっていく苦しみをみた」

学生 **上位** 夫婦のあり方、高齢者・認知症の受け止め、
学び・臨地実習の参考になった、家族のあり方、
ストーリーそのもの

「高齢社会や医療・介護問題について学校で学んでいる。夫婦の在り方、そして地域としてできることがリアルに伝わってきた」「臨地では学べない様子を見て学ぶことができた」

あれから10年
私は今も
看護師です

今回はかつて2009年12月に第1回「ポリナビHyogoワークショップ」が開催されたときの実行委員や参加者の皆さんにインタビューしました。ワークショップのメインテーマは「10年後あなたはどんな看護をしていますか？」で、盛況のうちに終わりました。あれから10余年が過ぎました……

川崎病院(青年部委員長) 宮西 由起

連盟の青年部に参加をし活動を始めたのが、ちょうど10年前。色々な病院から同世代の人たちが集まって話ができる環境が、当時の私には凄く刺激的で新鮮であった。

活動をしていく中で、メンバーと話をして一番盛り上がるのは給料の話であった。仕事量と給料が見合っていないという内容だ。あれから10年、もちろん仕事量、責任は増えた。

では、給料は増えたのか？

いや。10年前と変わっていない。むしろ減ったと感じているのが現状である。より一層、仕事量と見合っていないと感じている。今からさらに10年後を考えると、現状のままではより不満・不安が強くなる。

その問題を解決し、これからの未来に対し明るい希望を持てるように連盟の知名度を広げ活動をしていかなければいけないと感じている。



前列1番左が宮西さん

兵庫医科大学病院 西原 勝彦

私の人生の目標は子供の自立です。看護師として働き、家庭を守るため、看護と法律について知れば知るほど自分の人生と密接に関わっていることがわかりました。

現在、40代後半となり、発達障害のある娘は中学2年生になりました。子供の自立という目標にむけて邁進中ですが、コロナ禍となり職場環境は一変しました。10年前に抱いていた未来の看護師像とは大きく違い、仕事量は増え、体力面の衰えも実感しつつあります。

仕事と家庭の両立のため無理をすることも多くなっていますが、健康第一で家族に心配をかけないようにしていきたいと思っています。

ポリナビのメンバーとして、同志の活躍にいつも元気をもらっています。今後とも政治・政策に注目し、次の世代がより良い環境で看護業務に従事できるよう、微力ながら活動していきたいと思っています。



前列1番右が西原さん

みんなのかけつけ訪問看護ステーション神戸 松原 健治

皆様こんにちは。みんなのかけつけ訪問看護ステーション神戸の所長 松原です。

10年前、私は大学病院に勤めており、病棟の副看護師長を目指し、組織マネジメントの勉強をしておりました。副看護師長になってからは、臨床で看護実践と組織マネジメントの経験を積み重ねながら大学院へと進学し、ヘルスケアマネジメント修士(MBA)の資格を取得しました。

その後、地域の人々に最高のケアを届けたいとの思いで、2022年5月に神戸市で訪問看護ステーションを開業いたしました。地域には老々介護や独居世帯の方々が多くおり、その方たちを支えるべく、私たちは24時間365日訪問をしています。みんなのかけつけ訪問看護ステーション神戸では、「最高のケアは最高の職場から生まれる」ことをモットーに、職員が笑顔で働くための「Betterwork」を大事にしております。

私は、20代の頃から看護連盟の活動をさせていただいておりますが、そこで得た人脈や学びが全て「今」に繋がっており、何ものにも代えがたい私の財産となっております。最高の仲間たちと共に、最高の職場を作り、そして最高のケアを届けていきます。

これからどうぞよろしくお願いいたします！



右から2番目が松原さん

参加者からの一言

- 10年前、ちょうど看護師になった。患者さんに寄り添い、支える存在になりたいと思った。しかし、現実には複雑な業務や時間処置に追われ理想の看護ができていない。理想と現実のギャップがある。
- 10年前から給料がそんなに変わっていない。むしろ減った。モチベーションが上がらない。
- まさかコロナという未知のウイルスが流行るとは思わなかった。コロナ禍で、様々な病院体制も変わった。これからの10年後も何が起きるか分からないので臨機応変に対応していかないと感じている。
- 理想とする先輩がおり、そんな先輩になりたいと10年間頑張ってきた。しかし、自分が先輩となったとき新人との関わりや教え方の難しさを感じている。ジェネレーションギャップを感じることもある。



兵庫県看護連盟青年部は、2022年6月より愛称を「Po-mellon(ポメロン)」に改名して活動中



Po-mellonのInstagramを開いてみてください

■正会員 会費 8,000円(年間)

(内訳:日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円)

・公益社団法人日本看護協会会員の方

■特別会員 会費 8,000円(年間)

(内訳:日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円)

・正会員の経歴を有し就業しておらず、公益社団法人日本看護協会の会員ではないが日本看護連盟の活動にご協力・ご支援頂ける方。

■学生会員 会費 無料

・保健師・助産師・看護師又は准看護師の資格を得るために就学している看護学生で看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、広報誌をお届けいたします。

■看護職賛助会員 会費 3,000円(年間)

■一般賛助会員 会費 500円(年間)

・家族、知人等の一般の方、看護連盟が推薦する団体等、看護連盟活動に賛同して頂けるのであればどなたでも入会して頂けます。ご家族、ご友人にも広くお呼びかけ下さい。

お問い合わせ先

兵庫県看護連盟

〒650-0004 神戸市中央区中山手通5丁目1-3

TEL:078-382-3150 FAX:078-382-3151

Email: renmei-h@ceres.ocn.ne.jp

今後の予定

2023年度 兵庫県看護連盟通常総会

日時:2023年6月3日(土)

会場:ラッセホール

2023年度 日本看護連盟通常総会

日時:2023年6月13日(火)

会場:ザ・プリンスパークタワー東京

編集後記

新型コロナウイルス感染症の広がりを見てから、3年が経過し、日本では人口の4人に1人にあたる累計感染者を数える中にも、人流はコロナ禍前に戻りつつ、各地で恒例行事も開催されるようになりました。またロシアによるウクライナ侵攻などの影響で高騰する燃料費、物価高等重苦しいニュースが流れています。

今月号の表紙をかざる「卯」は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」を意味します。また、その跳び姿から「飛躍」「向上」を象徴することから親しまれてきました。他にも草木が地面を覆うようになった状態を表していますので、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

看護連盟機関紙「五弁の花」の由来である、兵庫県は古来より5国から成り立っています。いまこそ、その力を結集し、看護連盟活動を一步一步すすめて行きたいと思えます。

2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私達の生活が大きく向上する年になって欲しいものです。

広報委員:仁木、平川、丸岡、古川

表紙の写真



「USAGI sunshade-SAKURA 2020」

大西治・大西雅子作 あさご芸術の森美術館 野外彫刻 (朝来市多々良木)

感想やご意見を兵庫県看護連盟までお送りください。
ホームページは下記のQRコードを読み込んでください。

兵庫県看護連盟

Hyogo Nursing Federation
E-Mail: renmei-h@ceres.ocn.ne.jp



水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。

正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策(検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等)を行いながらセミナーを実施しています。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア

*オンラインセミナーの開催も承ります。

◆セミナーに関しましては、下記のメールフォームよりお問い合わせください。
担当よりご連絡させていただきます。

<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>

